傷害の防止
応急手当

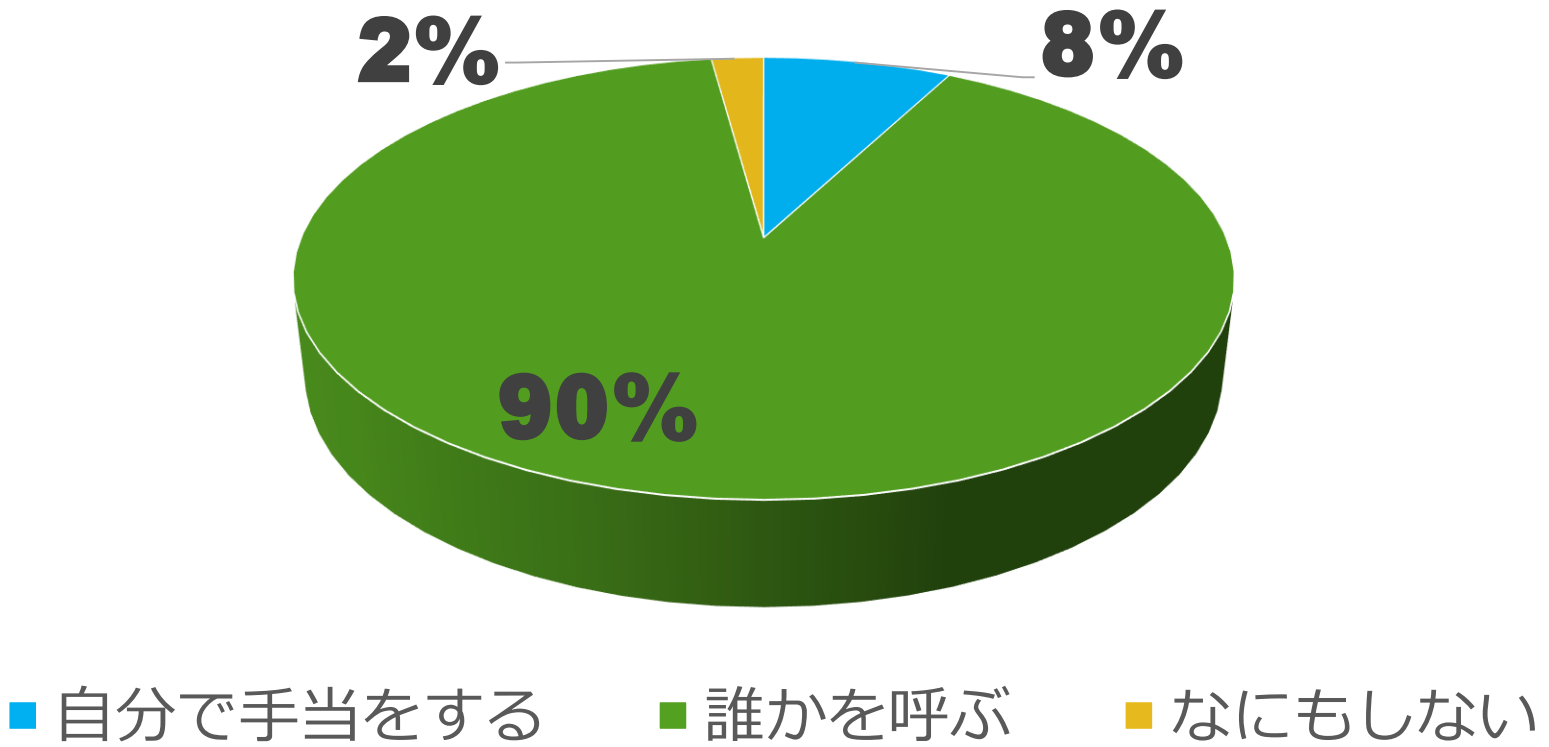
１年間の人数

- **100,000人**
  突然死で亡くなる人数

- **60,000人**
  心臓突然死で亡くなる人数
  一日あたり（約１６０人）※助かった人もいる

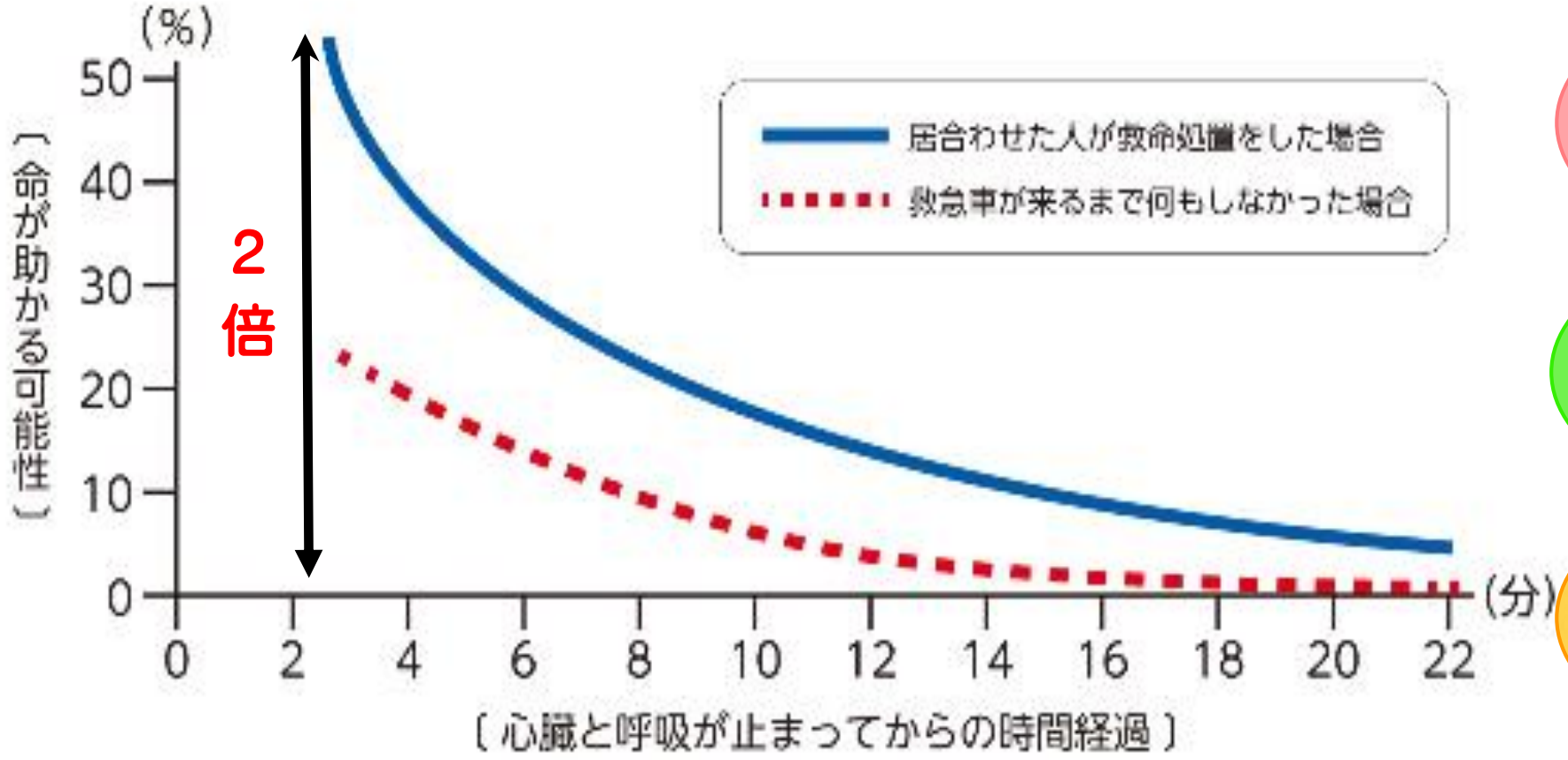
あなたの側で起こったらどうする？

倒れている人を発見したときのみんなの対応



救命の連鎖

応急手当の開始時間と救命の可能性の関係



予防

早い
認識と通報

一次救命処置
・心配蘇生
・AED

二次救命処置
心拍再開後の
集中治療

課　題

今、自分の側で起きたら. . .
命を救う可能性は低い。

その状況に直面したとき
どうすればよいのか学習する

応急手当の意義

- 適切な手当

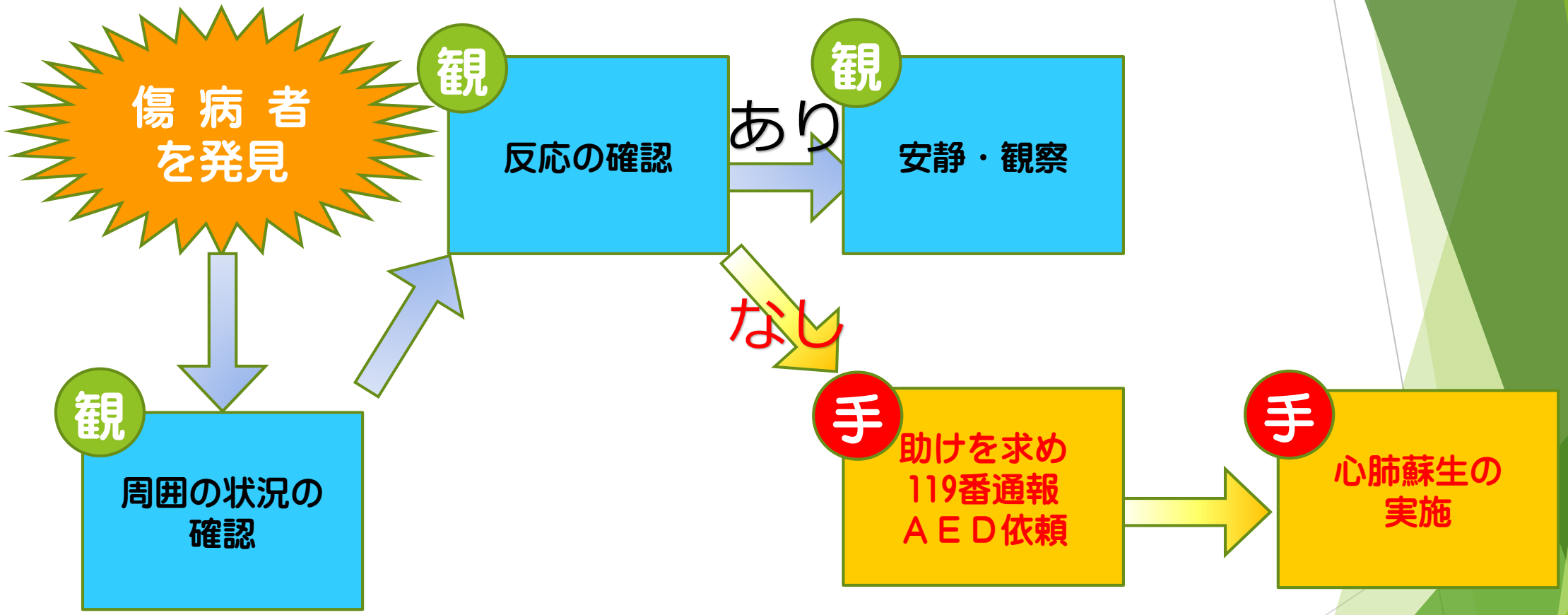
  痛みや不安を和らげる

  けがや病気の悪化を防ぐ

  生命を救ったりする

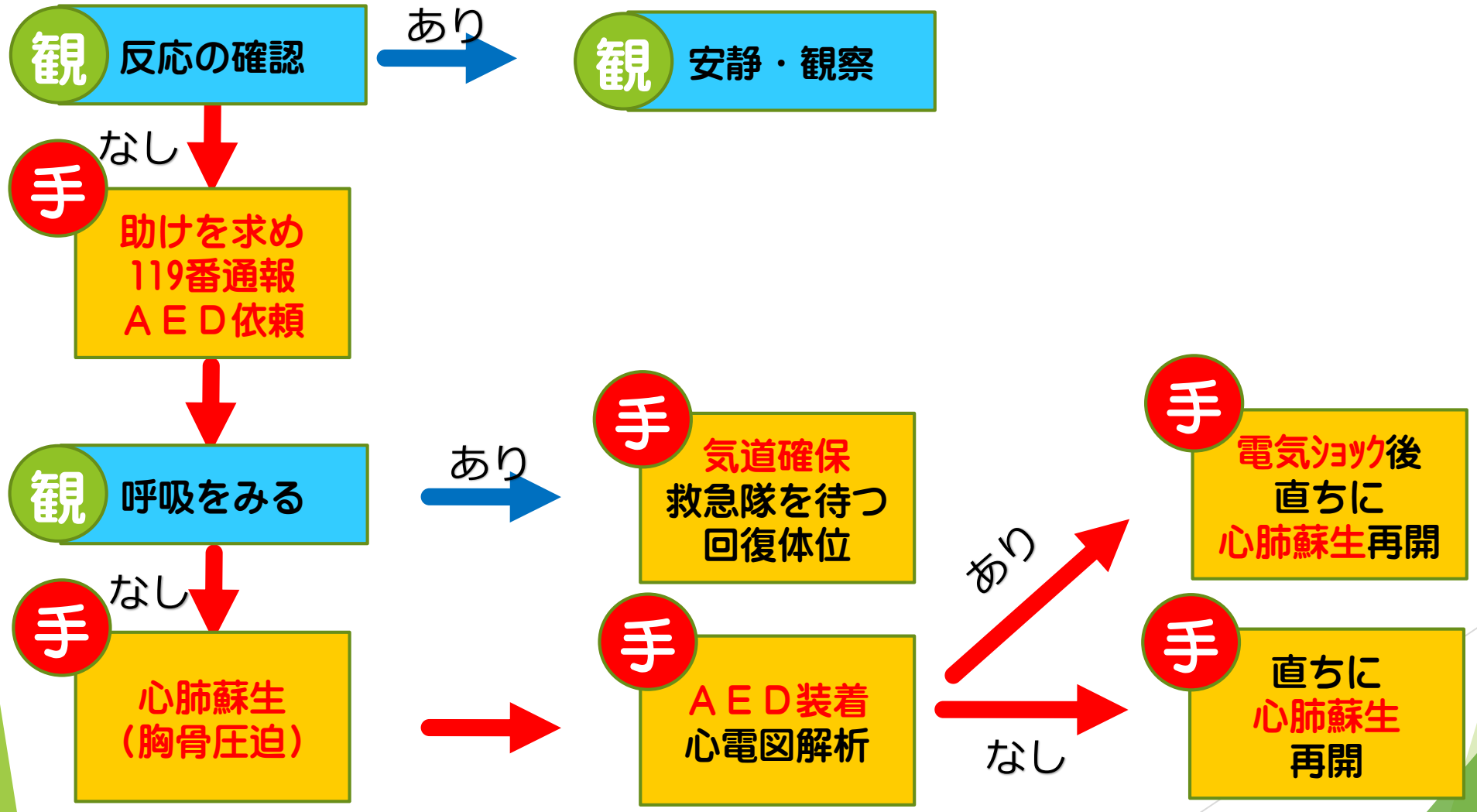
心停止・呼吸停止
少しでも早く開始する。

応急手当の基本


傷 病 者
を発見
観
周囲の状況の
確認
観
反応の確認
あり
観
安静・観察
なし
手
助けを求め
119番通報
ＡＥＤ依頼
手
心肺蘇生の
実施

心肺蘇生

傷病者に意識がない場合の手当



次の事例について考えてみましょう

放課後部活動の練習後に生徒が急に倒れました。呼びかけにも反応はありません。周りに居合わせた先生は、生徒に、養護の先生を呼んでくるよう依頼し、一報を聞いた養護の先生は119番に連絡をして、ＡＥＤを持って生徒のもとへ急ぎました。

生徒の様子を観察すると、反応はありませんが、苦しそうに呼吸をしています。そのため、その場で観察をして救急隊を待ちました。

通報してから８分後、救急隊が到着しました。

その後、救急病院に搬送されましたが、残念ながら、生徒は亡くなってしまいました。

できる手当はなかったか．．．？

死戦期呼吸（しせんきこきゅう）

- 死戦期→死の直前の状態
- 死戦期呼吸＝心停止→すぐに心肺蘇生

- 死戦期呼吸は心停止直後の傷病者にしばしばみられる。
- 通常とは異なる呼吸で、下あごを動かして呼吸をしているように見えるため、判断が難しい。

次の事例について考えてみましょう

放課後部活動の練習後に生徒が急に倒れました。呼びかけにも反応はありません。周りに居合わせた先生は、生徒に、養護の先生を呼んでくるよう依頼し、一報を聞いた養護の先生は119番に連絡をして、ＡＥＤを持って生徒のもとへ急ぎました。

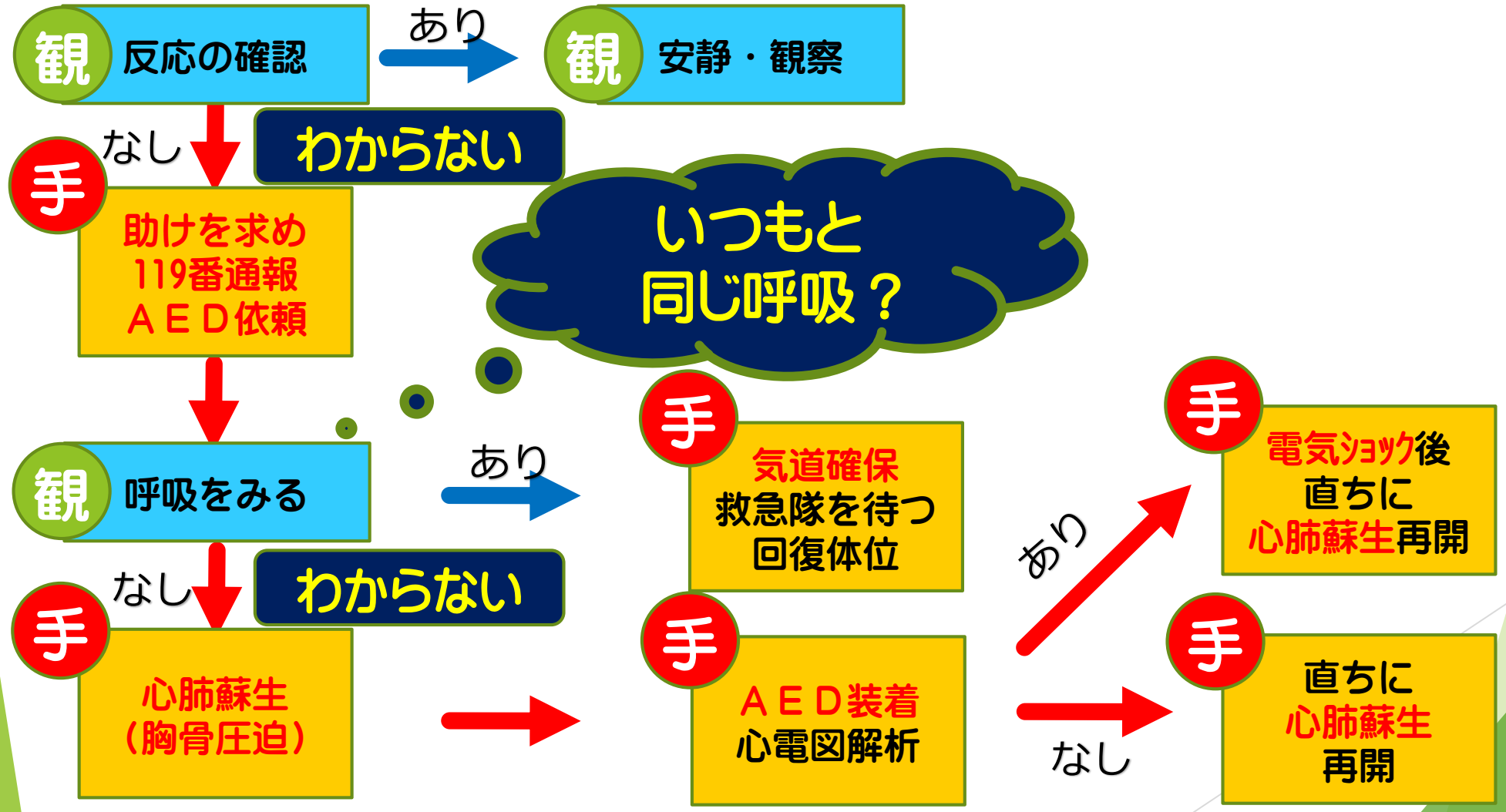
生徒の様子を観察すると、反応はありませんが、苦しそうに呼吸をしています。そのため、その場で観察をして救急隊を待ちました。

通報してから８分後、救急隊が到着しました。

その後、救急病院に搬送されましたが、残念ながら、生徒は亡くなってしまいました。

心肺蘇生法

傷病者に意識がない場合の手当



次の事例について考えてみましょう

放課後部活動の練習後に生徒が急に倒れました。呼びかけにも反応はありません。周りに居合わせた先生は、生徒に、養護の先生を呼んでくるよう依頼し、一報を聞いた養護の先生は119番に連絡をして、ＡＥＤを持って生徒のもとへ急ぎました。

生徒の様子を観察すると、反応はありませんが、苦しそうに呼吸をしています。

今のあなたならどうする？

心肺蘇生　実習

▶学習のねらい

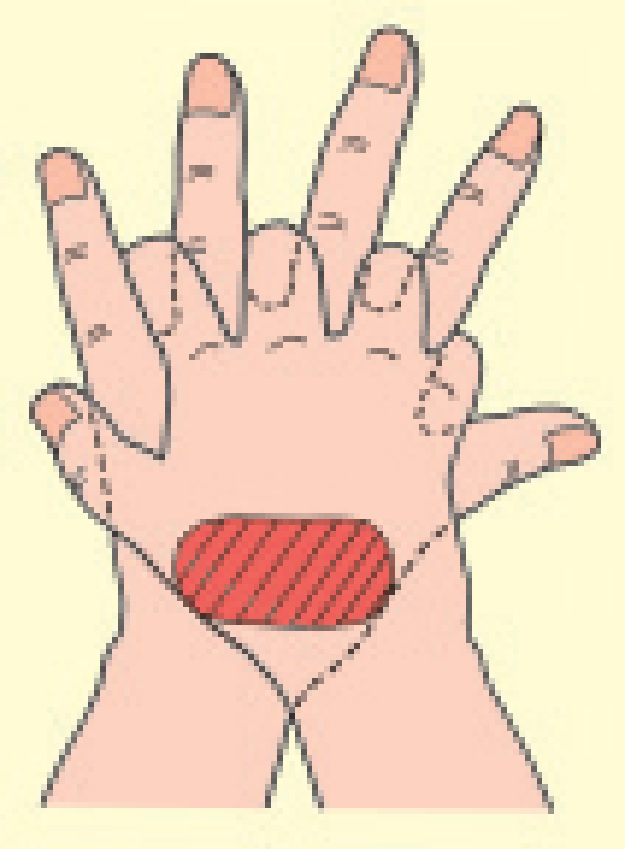
心肺蘇生を行うときの課題を解決するための活動に、意欲的に取り組み、実習を通して理解を深める。

■学習課題■

▶心肺蘇生を行うときの注意点にはどのようなことがあるか？

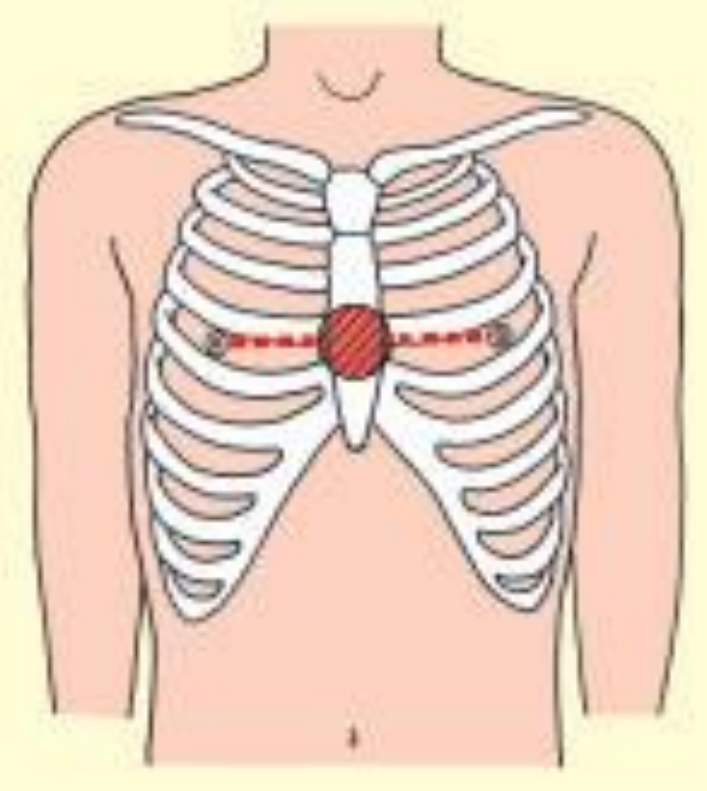
▶圧迫するときの姿勢

垂直に体重をかけて肘を曲げない



▶圧迫する位置

胸骨の下半分
（胸の真ん中あたり）



▶圧迫する強さ

胸が少なくとも５ｃｍ沈むように圧迫する
（実習ではテニスボールが半分程度）

▶圧迫する速さ

１分間に少なくとも１００回の速さ
（実習では１２０回／１分）

▶圧迫する時間

救急隊に引き継ぐまでの時間
（平均で７～８分）
※中断は最小に
（10秒を超えてはいけない）